

「会議所ニュース」に掲載されました

この度、当所が参画する「旭川市BCP連携推進連絡会議」について、日本商工会議所発行「会議所ニュース（11月11日号）」に掲載され、全国の商工会議所（515箇所）に紹介されました。
今後本事業をはじめ、旭川市の活性化に向けて各種事業に取り組んで参ります。

旭川 BCP連携推進会議設置

他地域の企業受け入れへ

旭川商工会議所（北海道）と旭川市、旭川市立大学などはこのほど、「旭川市BCP連携推進連絡会議」を設置した。同会議は、全国各地の企業や団体のBCP（事業継続計画）連携の受け入れを推進することなどを目的として設置された。10月10日には、旭川市総合庁舎で初会合を開催し、同所の川口勤常務理事をはじめ19機関・団体（うち2社はオアザーパー）から25人が出席した。同会議設置の背景には、旭川市が「BCP連携のまち・あさひかわ」を掲げていることが挙げられる。同市は、①地震回数が少なく、過去30年間に震度1以上の地震は年平均1・8回②台風の接近も少なく、接近回数が年平均1・9回③今後30年以内における震度6弱以上の地震発生率は0・76%④旭川空港や旭川駅などのアクセスの良さ⑤産業や医療機関の集積——の五つの利点があり、安全性や事業者にとっての安心感の面で優位性がある。全国各地では毎年のように自然災害が発生しているが、同市はこの優位性を生かし、全国



旭川市総合庁舎での初会合

関も参画しており、産学官金の連携を生かしていくことが期待されている。他地域からの受け入れ事業者と地域企業とのつながりも設け、地域経済の事業者の事業継続を支える拠点となることを目指している。同所担当者は「この会議をきっかけとして、地域活性化を進めたい」と話している。